HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | アンケート・参加者集計 |
| Description | 北海道大学入試改革フォーラム2019. 2019年6月18日. 北海道大学学術交流会館(札幌). 北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部主催, 北海道大学アドミッションセンター共催 |
| Issue Date | 2019 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/86340 |
| Type | other |
| File Information | 6_Enquete.pdf |

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

# アンケート・参加者集計

北海道大学入試改革フォーラム 2019

「コンピテンシー評価に基づく新たな大学入学者選抜の可能性」

# 参加者アンケート

この度はお忙しい中「北海道大学入試改革フォーラム 2019」にご参加いただき、誠にありがとうございました。
お手数ですが、今後の参考のためにアンケートにご協力願います。

※ご記入いただきましたアンケート用紙は、お帰りの際に受付にお渡しください。

**１．ご所属**

（1） 高校 （2） 大学 （3） 教育産業 （4）その他（ ）

**２．フォーラムのテーマについて**

（1） 良い （2） どちらとも言えない （3） 改善すべき

＜理由＞＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**３．【第１部】基調講演者の発表について**

（1） 良い （2） どちらとも言えない （3） 改善すべき

＜理由＞＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**４．【第２部】現状報告者の発表について**

（1） 良い （2） どちらとも言えない （3） 改善すべき

＜理由＞＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**５．【第３部】総括討論（パネルディスカッション）について**

（1） 良い （2） どちらとも言えない （3） 改善すべき

＜理由＞＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**６．今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。**

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**７．その他（全般的なご意見・ご感想について）**

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご協力ありがとうございました。

# 北海道大学入試改革フォーラム2019
# 「コンピテンシー評価に基づく新たな大学入学者選抜の可能性」
# 参加者アンケート集計

**質問１．ご所属**

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 高　校 | 64 | 56.6% |
| 大　学 | 13 | 11.5% |
| 教育産業 | 22 | 19.5% |
| その他 | 11 | 9.7% |
| 無回答 | 3 | 2.7% |
| 合　計 | 113 | 100.0% |

**質問２．フォーラムのテーマについて**

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 良い | 102 | 90.3% |
| どちらとも言えない | 9 | 8.0% |
| 改善すべき | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 1.8% |
| 合　計 | 113 | 100.0% |

**質問２．理由（「良い」を選択）**

・関心の高いテーマがあったから
・企画各種は研究者的ではあるが・・・
・高大接続改革の最新状況は、web調査だけではわからないものがあります。
・本フォーラムで、最新かつ具体的な情報を把握できて、大変有意義でした。
・所属する高校の改革の方向性に合致したテーマで、非常に勉強になりました。
・現状課題がよく分かりました。
・北大の入試改革の方向性がよく分かりました。
・具体的内容、具体的実践を伺うことができたため。
・評価についての重要性を考えるきっかけとなった。
・評価、キーコンピテンシーについて理解が深まりました。
・コンピテンシー評価をどう実現するかは校種によらず共通の課題である。
・どうもありがとうございました。
・ジャスト！！
・昨年度より高校教員として、興味深いものになりました。
・コンピテンシーの扱いがそれぞれで大きく異なることがよくわかった。
・今目的課題として有意義
・高大接続の観点からも具体的にどのようなコンピテンシーが必要となるのか高校でも把握できる。

・テーマは注目している内容だった。
・北大の入試改革に関心があったので。
・日本全国で求められている
・学力だけでなく、それによってどんな力がついたのかの評価をすることがわかりよかったです。
・全体の様式に統一感があり、全体像と個々の話が理解しやすかった。
・大学入試改革の方向性について具体的に知ることができた。
・コンピテンシーについて理論的背景を学ぶことができたため。
・高校での学びと社会とを結ぶための力として、知りたいと思っていたため。
・とても良いテーマで多くの方が興味があると思います。
・３回目（？）の参加です。北大入試改革の変化（成長、具体性）が見えてきました。
・大学としての評価が分かれる「主体性」に焦点をあてたテーマであったため。
・現実的だから

**質問２．理由（「どちらとも言えない」を選択）**
・対象を明確にしてほしい（高大接続）も入れるなど。

**質問３．【第１部】基調講演者の発表について**

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 良い | 81 | 71.7% |
| どちらとも言えない | 24 | 21.2% |
| 改善すべき | 6 | 5.3% |
| 無回答 | 2 | 1.8% |
| 合　計 | 113 | 100.0% |

**質問３．理由（「良い」を選択）**
・貴重な資料をいただいたと感じる
・コンピテンシーを巡るものの状況は良く整理された。
・勉強になった
・コンピテンシーの内容を概観できるものであった
・高大接続改革の背景となっているコンピテンシー評価への理解を深めることができました。
・最先端の教育事情を知る絶好の機会でした
・グローバルな視点から理解できました
・OECDの議論がよく分かりました。
・英語をうまく日本語に落とし込んで説明して頂いたところ。
・コンピテンシーの定義を含めて、OECDの解釈の仕方がわかりやすくよく解説されていた。
・漠然としていたコンピテンシーについて、大枠が理解できた。
・生みの苦しみが伝わった。
・興味深い内容でした。英語原文そのままの方がより意味が伝わってよかったです。
・分かりやすい説明で頭が整理できました。
・主体性が社会的な責任を担保した主体性であるということが印象的であった。

・わかりやすかった。
・現在の学力観の背景がよく分かった。
・北大での取り組みや国際的な動きを受けての日本での取り組みがわかりました。
・コンピテンシーについて経緯、現在から具体までの流れがわかりやすい。
・現在までの流れと、学習との関わりについてのイメージができた。
・カリキュラムの３つのタイプなどのように、出典があるはずのものにはそれを明記していただきたかったです。
・コンピテンシーについて理解が深まったから。
・説明は頂きましたが、英語のみだと、職場での内容共有が少しやりにくいです。
・コンピテンシーについて聞いたことがなかったので明確になった。
・どのような力を見ているのかよく分かった。
・コンピテンシーの意味について理解できたため。
・ベースにある考え方は良いが問題付けが少し飛躍している。
・改めてバックボーンが見え、ためになりました。
・まさに基調講演
・国際的なものと指導要領のリンクを知れた。

**質問３．理由（「どちらとも言えない」を選択）**
・世界的なコンピテンシーの定義は理解できたが、日本の“答申”にどのように反映されていったかというような、具体的説明が聞きたかった。
・時間の割には少し専門的すぎたように思うが、「基調」にはなったため。
・もう少し具体的な話まで入るとよいと思いました。
・短い時間で内容の理解が不十分であった。
・自分の勉強不足を棚に上げますが、内容が難しくてついていけない印象が強い。
・コンピテンス評価の信用性について具体的説明がなく、理念が先行している感は否めない。
・英語の専門用語に不慣れで理解できない部分が多かった。
・現状報告者と比べるとわかりやすい

**質問３．理由（「改善すべき」を選択）**
・資料がほぼ文字でイメージするのが難しかったです。
・まとめだけで十分。
・資料が英文のままであるため、振り返って講演内容を考える際に不便なため。

**質問３．理由（「無回答」）**
・文科省が進めている教育改革について背景となる国際的考え方を知れた。
・コンピテンシーの説明がわかりやすく、理解できたが、これを各校で具現化していくのは大変なことだと感じた。教科、教育課程

**質問４．【第２部】現状報告者の発表について**

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 良い | 97 | 85.8% |
| どちらとも言えない | 14 | 12.4% |
| 改善すべき | 2 | 1.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合　計 | 113 | 100.0% |

**質問４．理由（「良い」を選択）**

・高校の現状が理解されつつ、北大の入試改革が進んでいると感じました。
・それぞれの視点からの状況を知り、学ぶ機会になった。
・フロンティア入試の理念がわかりました。高校教員を信頼して頂きありがとうございます。
・主体性を育み、挑戦させたいと思います。フロンティア入試に期待しています。
・北大の状況が分かった
・貴学の入試改革への取り組みを具体的に理解することができました。
・北大の問題意識、目指す方向性が見え、高大接続の一翼を担う高校側としてもモチベーションが上がりました。
・話と資料の流れ、分量がちょうどよく分かりやすかったです。
・現場の状況が分かりました
・「入試説明会ではない」とのことだったが、本当の入試説明会がうすいので、この場での具体説明に期待している。
・北大フロンティア入試の概略が理解できました。
・大学側の狙い、思いが明確になった上に、高校としての学ぶべきことが見えたため。
・とても具体的で良かった。
・納得のいくテーマを提示して頂きました。
・充実した内容を端的にまとめて発表されていた。
・北大の入試改革について教えてもらえてよかった。本学の入試改革の参考になった。
・具体的な教員の立場に立たれた主張は親近感が持てる。
・やはり現場の話が一番ためになる。
・特に高校におけるカリキュラム・マネジメントの必要性に関する話が参考になった。
・北大で求めているコンピテンシーがよく理解できた。
・コンピテンス評価の今の検討状況がわかりました。
・興味の持てる内容であったから。
・特に北大の先生方の発表が興味深かった。
・橋村先生の説明は具体的でとてもわかりやすかった。
・３人の話全て、参考になった。
・具体的な話だったから。
・求める学生像や入試までに身につけさせたい能力を知ることができた。指導に生かしたい。
・橋村先生、三浦先生ともに高校の実態を熟知した方のお話でイメージしやすかった。
・高校現場として、三浦先生のお話が興味深かったため。

・大学（の関係者）の考えを率直に知ることができた。林野高校の取り組みも参考になった。
・より具体的であったので良かった。入試関係なので深くはいけないと思いますが、ギリギリまでありがとうございます。
・別の県の取り組みについて聞けたのでよかった。
・北大の現状、検討の方向性、そして高校の現状が理解できたため。
・林野高校の話はリアリティがあった。
・評価項目について、なぜその項目を設定するのか、どのように活かされるのか参考になったため。
・できればもう少し具体例を

**質問４．理由（「どちらとも言えない」を選択）**

・コンピテンス・テストについてより詳しく知りたかった。育てたい生徒像は明確化されても、本校では授業改革の取り組みが進められていないので、他校の取り組みに刺激を受けることができた。
・「個人の考え」が多く出ていた講演があったが、それは北大の公式見解と同一なのかが不明。
・三浦氏の現状報告はリアリティがありよかった。
・ほとんどが抽象的な内容でした。

**質問４．理由（「改善すべき」を選択）**

・時間の関係か、早く進むところがあると感じられた。
・評価の客観性、学力の捉え方、個人的見解の部分などどう受け止めていいかよくわからなかった。

**質問５．【第３部】総括討論（パネルディスカッション）について**

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 良い | 71 | 62.8% |
| どちらとも言えない | 27 | 23.9% |
| 改善すべき | 3 | 2.7% |
| 無回答 | 12 | 10.6% |
| 合　計 | 113 | 100.0% |

**質問５．理由（「良い」を選択）**

・さまざまな角度から実りのある話し合いになったと思います。
・対話形式がよい
・高校教育の現場の生の声と、それに対する貴学の考え方について良く理解できました。
・パネラーの方々がどんな質問に対しても丁寧に回答して下さったため。
・質疑応答でさらに深まりました。
・質問を紙で受けて対応する形式が良かったです。
・できるだけ早く「記録」をHPにアップなどしていただけるとありがたいです。紙ベースは遅くても大丈夫です。
・コンピテンシー育成にかかわる具体的な方策を構築するにあたって必要なところが把握できた。
・出席者の質問に対して回答していただきありがとうございました。
・質問にしっかり答えてもらっていた。

・理解は深まった。もう少し三浦先生の話を聞きたかった。
・会場からの質問にパネリストの方が答えていく方法はとても良いですね。
・良い質問に正面から答えて頂いて、非常に面白く聴けました。
・整理して討論いただいたので、多くの意見を聞くことができた。

**質問５．理由（「どちらとも言えない」を選択）**

・抽象的なものが多く、求められているものを踏まえているとは言えない。（質問の取り上げ方が…）
・相互の意見交換もあるとよかった
・講演者の回答は良かったが、質問する先生たちの質問内容が自分本意過ぎてげんなりしました。
・一般論と個別大学の入試制度の話について、あまり区別なく語られていたような印象で少し驚きました。
・データで示した上で説明するなど工夫が欲しかった。
・質問の内容が抽象的で的を得ないものが多かった。
・質疑応答形式はありがたいが、もう少しまとまった形ができるとなお良いと思う。
・パネリストの方々から、講演をさらに噛み砕いた話を聞けたことは良かったです。
・質問内容がすでに講演で説明されているようなものがあり残念でした。

**質問５．理由（「改善すべき」を選択）**

・性質上仕方のないことかもしれませんが、進行が円滑とは言い難いのではないかと感じました。

**質問６．今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。**

・一般入試のあり方についても取り上げた方がいいと考える。
・北大側からの一方的な説明ではなく、高校や一般の方から北大への直接の意見や質問ができるフォーラムであるべき。
・紙による質問だけでは意見は伝わりません。
・大学で伸びる学生・伸びない学生の特徴
・今回のその後も聞きたい
・今回のコンピテンシー評価のお話を一般入試の個別学力試験の作問等に活かす方策など一般入試の個別試験のあり方について（ここでの募集人員が一番多いので）
・今後も同様の形式を望みます。
・高大接続がうまく進むように、大学から高校への要望、高校から大学への要望を可視化する機会があってもいいのかな、と思っています。
・実際の高校のポートフォリオと北大のポートフォリオをマッピングするような具体が見える内容
・共通テストの実施状況について、各大学の状況がわかればいいと思います。
・すぐとはいきませんが、新入試のコンピテンシー評価の精度のデータ報告を望みます。※高校側の評価の方法を反省するため。
・大変興味深く拝聴いたしました。同形式でかまいません。また出席させていただきます。
・高校教員の負担と､多様な入試の２つのバランスのとれたこれからの在り方について検討してほしい。（理想は分かるが、現状先生方に負担となる内容はお願いできない現実）
・コンピテンシー評価の追跡調査や高校との共有、コンピテンス・テストのその後などに興味があります。
・形成的評価についての研究、OECDの最新報告、バカロレアについて、主体的であることの研究事例

・入試説明会（高校教員向け）がどうなっているのか？どうなっていくのか？興味深くまた参加させていただこうと思います。
・大学が求める学生の姿、高等学校での育む生徒像のミスマッチについて。
・昨年の社会の求められる力も聞けるとよかった（テーマがわかっていながらも）
・今回初めて参加したが、大学が高校側に求める生徒像や人材をより具体的な形で伝えてほしいと思いました。
・林野高校のような事例をもっと詳しく知りたい。ルーブリックの作成の過程なども知りたかったです。
・フロンティア入試がどのように拡大していくのか、方向性を知りたい。
・後半は、参加者・テーマ別に分かれて討論するなど、出席者も発言する機会を設けてほしい（希望者）。
・他の国公立大学入試と比較したときの北大の特徴などもあればお聞きしたい。
・北大の入試の動向に関するものは必ず入れてほしい。
・今回と同じで。
・一般入試の科目別の出題方針やその意図について等。また、高校で身につけてきてほしいそれぞれの科目での力について知りたい。
・各大学で主体性を評価、選抜する方法。
・フロンティア入試が軌道に乗った時の実施の感触などを伺いたいです。
・評価のツール分析法など、より具体的な話も聞いてみたい。
・内容は興味深いのですが、少し時間を短くしていただいた方が参加しやすいです。
・初めて参加させていただきましたが、この形でよいかと思います。
・今回の形式でよいが、情報交換会もぜひお願いしたい。
・評価や人材育成
・先進的なお取組を公開下さり本当にありがたいです。引き続き追跡頂ければ幸いです。
・一般入試（独自の作問）の位置付けについて（事例を望みます）。
・（できれば）この国の“基礎”科学力を養う面からのアプローチもほしい。

**質問７．その他（全般的なご意見・ご感想について）**

・その場でも質問を受け付けてほしい。
・北大の文系と理系の入試方法やスタンスが違いすぎることに疑問を感じます。
・入試方法や入試問題についても外部からの意見を取り入れる又は耳を傾けてほしい。
・多面的、総合的評価に努めたと思います。「一緒にやりましょう！！」
・高校等出席者が聞きたいこととのギャップはあったと思う
・今回のように学問的な背景と実際的なお話とが両方あるというのは大変ありがたく、勉強になりました。
・途中で聴講者の質問を集める形式は大変良かったと思いましたが、会場の都合で（真ん中に座った結果、休憩時間に提出しに行くことができず）アンケートを提出することができず残念でした。
・昨年度に続き、非常に興味深いテーマで、北大の責任感と言いますか、次世代の入試を担う意識が見えてとても良かったです。
・ありがとうございました。
・ご多忙の中､フォーラムを開催頂き､ありがとうございました。どの説明会でも気になっているのですが、手元資料にないスライドの写真撮影は問題ないのでしょうか。
・会場の温度が多少高かった気がします。

・今までの入試の間違いをはっきり認めてから協力を求めるべきではないですか？
・新入試を何十年も続けていく覚悟がどれくらいありますか？
・社会（企業）も大学生のポートフォリオや調査票を必要としているのでは？大学の先生も作成する覚悟ありますか？
・高１の時点で進路希望が定まっていない生徒も多い。北大に希望した時期が高２～３と遅くても北大AOに合った生徒が希望した場合、どう対応すべきか。
・高校入試について、（公立校の性格上、自由度は小さいのですが）これからの高大接続の観点からどうあるべきか、どのようなことを改善すべきか検討すべきと考えている。
・北海道教育委員会の幹部も呼んでください！！道立校は道教委の指導があるので他都府県より遅れていると感じていますが、高校だけで変えられません。
・講師や講演の順序など、良く構成されたフォーラムでした。参加して大変勉強になりました。ありがとうございました。
・大学の将来や評価についての学術的なフォーラムであるが、北大の入試選抜の説明（会場がこの傾向にある)が中心か混在している。完全分離した方が議論しやすい。北大入試の色が濃すぎると､本来学ぶべき、また議論すべき内容からずれてしまう可能性がある。フォーラムの立ち位置を明確にした方がよい。
・元岩東の橋村先生のお話がたいへん印象深かったです。北大というか、大学というものの捉え方を変えていく必要があるかと思いました。
・教員だけでも大変ですが、保護者、地域の声まで含めると、社会でなく個人偏重で、先が思い遣られますが・・・。
・大学入試の厳密性というところでいうと、調査者に近い、教員による受験生の評価を１回切りで終わらせるのではなく、インタラクティブな関係を築き、検証していくとのことですが、それは今後の受験生に生かされることで、必ずしもその受験生の「力」の評価とはならないのではないか？調査票のようなもの、というのであれば、それは合否にどの程度関わってくるのか？（比重・配点等）例えば、新しい入試においても、これまで行っていたモニター調査のようなものを実施されるのか？ポートフォリオの導入って、いつ、どの程度なのか？この辺りはかなり気になるところなのですが、入試説明会等ではどう説明されるのか？
・明日を背負う若者のために頑張っていきましょう。
・コンピテンシー評価は特に医療系入試導入には必要。しかし、これが一般入試に導入されては、それこそ一面的偏った選抜になる。
・入試の改革として考えていることは伝わりましたが、医学科AOは合格者が最近出ていないので改革してどう変わるのか実感がわきません。
・せっかくの入試の機会、合格者をしっかり出してほしいと思います。
・「主体性」「主体的な学び」という言葉の定義を前提として統一しないとパネルディスカッション全体での議論が噛み合わないことになってしまう。
・難しいとは思うが、プログラム全体のコーディネートの精度を上げて頂けるとよいと思う。
・結局、よく分からなかった。
・英語の資料は和訳をつけてほしい！！
・北大の取り組みが道内の高校へ良い方向への改革のきっかけになればと思います。
・今後の教育の方向性について、概観することができました。
・今日は､高校関係者以外でも一般として参加させていただきありがとうございました｡御礼申し上げます。

・３回目の参加ですが､これまでより改革の進み具合や今後の見通しが明確になっていると感じられました。
・教務の教員にも聞かせたい内容でした。
・THEでの国際性の評価が低く（基準がおかしいことは承知していますが)、残念ですが今後も努力して総合順位を上げてください。
・生徒にも一地方大学ではない、世界レベルの大学だといつも話しています。(OBです)
・北海道まで来て良かったです。
・内容が豊富で、今後情報を消化していきたい。参加させていただきありがとうございました。
・質問にもありましたが、調査書の公平性に疑問を持ちました。
・自分の生徒は我が子のような存在なので、不正ギリギリのようなことも行われるのではないでしょうか？
・いくら選抜方法を変えても、対策というのは生まれるものだと思います。
・今回は高大社接続と言いながら、高と大の接続の手法について大きな隔たりがあることを実感した。
・北大が考えていることに実効性があるのか疑問です。
・道内の高校から見れば年々敷居の高い大学になっている中、高校に入試の一端（しかも重たい部分）を担わせる感のある制度には疑問が残ります。
・高校入試では調査書に良いことしか書かれなく、全く差をつけられません。大学入試でも似たようなことにならないかな？と気になっていました。
・大変参考になりました。ありがとうございました。
・より具体的な話（教育現場で役立つお話）が聞けると幸いです。
・全国の国立大学で評価など基準的部分が統一されると良いなと感じた。
・パネルディスカッションでは、コーディネーターの方々が、話を上手く繋いでくださって聞きやすかったです。

# 参加者集計

## １．参加者総数

206名

## ２．参加者内訳

| | |
|---|---|
| 講演者等（挨拶・司会・コーディネーターを含む） | 8名 |
| 大学関係者 | 33名 |
| 高校関係者 | 98名 |
| 教育産業 | 45名 |
| 北大スタッフ | 6名 |
| その他 | 16名 |
| 合　　計 | 206名 |

## ３．地域別参加者数

| | |
|---|---|
| 北 海 道 | 159名 |
| 東　　北 | 2名 |
| 関　　東 | 23名 |
| 中　　部 | 4名 |
| 近　　畿 | 5名 |
| 中　　国 | 1名 |
| 九　　州 | 2名 |
| 沖　　縄 | 1名 |
| 不　　明 | 9名 |
| 合　計 | 206名 |